

2025年6月24日

報道関係各位

日本貿易振興機構（ジェトロ）

京都リサーチパーク株式会社

HVC KYOTO が BIE SPARK Workshop と連動し HVC Week として4日間の開催が決定

HVC KYOTO 2025 Demo Day スタンフォード大 池野文昭教授の登壇決定！
～厳正なる審査を経たファイナリスト15社を発表～



HVC KYOTO 2024（昨年の様子）

日本貿易振興機構（以下、ジェトロ：京都貿易情報センター所長 村上義）、京都府（知事 西脇隆俊）、京都市（市長 松井孝治）、京都リサーチパーク株式会社（以下、KRP：代表取締役社長 浅野貢男）が主催する、ヘルスケア領域の国境を越えたビジネス展開を支援するイノベーションプラットフォーム「HVC KYOTO（以下、HVC）」は、10年目を迎える節目の年に、グローバル展開をさらに強化するため「HVC Week」として2025年6月28日から7月1日までの4日間開催します。6月28日から30日までは、関西スタートアップアカデミア・コアリション（以下、KSAC）主催「BIE Workshop in Japan supported by SPARK Global（以下、BIE SPARK Workshop）」、6月30日から7月1日まではHVC Demo Dayを開催します。HVC Demo Dayで登壇する厳選されたファイナリスト15社、および海外ゲストからの基調講演も決定いたしました。一般参加枠は好評につき増席しましたが、お席に限りはございますので、事前登録はお早めをお願いいたします。

申込：<https://hvckyoto2025.peatix.com>

1. グローバルを意識し、創造性・革新力・トランスレーショナルリサーチの実践力を高める

HVC Week

HVCが10年目を迎える今年、グローバルな視点をさらに強化するため、KSAC主催の「BIE SPARK Workshop」と連動して「HVC Week」が6/28から始まります。BIE SPARK Workshopは、科学者・医療従事者・起業を志す研究者を対象に、デザイン思考、創造的課題解決、製品開発、商業化戦略のスキルを実践的に学ぶプログラムです。講義、グループワーク、チームによる発表を通じて、バイオメディカル分野における創造性、革新力、そしてトランスレーショナルリサーチの実践力を高めることを目的としています。選抜された1チームは、7/1のHVC Demo Dayでのピッチも予定されています。「BIE SPARK Workshop」との連携を通じて、国内外の起業を目指す研究者やスタートアップ、事業会社が集う新たな交流の場を提供します。

2. HVC Demo Dayでの海外ゲスト登壇者が決定！

今年の基調講演にはスタンフォード大学より池野文昭氏、SPARK GlobalよりDaria Mochly-Rosen氏の登壇も決定しました。「日本のスタートアップが動くべきポイント」や「創薬のトランスレーショナルリサーチプログラム」について、講演をいただきます。

シリコンバレー型の医療機器エコシステム確立を目指す スタンフォード大学の池野文昭氏



池野文昭 氏

医師/スタンフォード大学 研究員

MedVenture Partners 株式会社 取締役/チーフメディカルオフィサー

スタンフォード大学発、 医学領域の橋渡し研究を推進するトレーニングプログラム「SPARK」 創設者 Daria Mochly-Rosen 氏



Daria Mochly-Rosen 氏

スタンフォード大学 医学部 教授

SPARK 創設者

3. HVC Demo Day で登壇するファイナリスト 15 社が決定！

厳正な審査を経て、Demo Day に登壇するファイナリスト 15 社が決定しました。今年は特に、開発早期の意欲的な開発プロジェクトが目立ち、癌、心臓病、認知症等の難病への課題解決を目指した案件や、低侵襲や個別化医療、AI・DXによる医療変革を目指す案件等、グローバル展開を視野に入れた勢いのある顔ぶれが揃いました。

Finalists in the Biotech Category

 <p><u>アンシンバイオ株式会社</u> Engkong Tan Director, Head of Japan Branch</p>	 <p><u>Sharkey Technologies</u> Zhou Wei CEO</p>	 <p><u>ENIC Immunology株式会社</u> 我妻 慶祐 CEO</p>
がん根絶のためのプレシジョン・メディスンにおけるネオアンチゲン標的治療の開拓	サメ由来の世界最小の抗体が切り拓く未来	革新的な分化プラットフォームを基にしたiPS細胞由来CARマクロファージによる次世代免疫細胞療法の実現
 <p><u>東京科学大学</u> 味岡 逸樹 教授</p>	 <p><u>東京慈恵会医科大学</u> 山田 幸司 准教授</p>	 <p><u>京都大学iPS細胞研究所</u> 舟越 俊介 特定助教</p>
分子集合体医薬：ペプチドによる次世代創薬モダリティの創出	小胞体創薬による新たな癌治療	ヒトiPS細胞由来3次元成熟心臓組織を用いた創薬プラットフォーム事業
 <p><u>東京農工大学 大学院工学府</u> 寺 正行 准教授</p>	 <p><u>富山県立大学／京都大学</u> 村上 達也 教授／客員教授</p>	
遺伝子構造を標的とする低分子医薬品の開発	新生血管型加齢黄斑変性に対する次世代光線力学療法剤の開発	

Finalists in the Medtech Category

 <p><u>株式会社Jimed</u> 水口 成寛 グローバル事業開発執行役員</p>	 <p><u>産業技術総合研究所</u> 高松 利寛 主任研究員</p>	 <p><u>NODAS株式会社</u> Tang Honghao CTO</p>
世界初の植込み型Brain-Computer Interfaceによる新しい医療の実現	組織深部を可視化する近赤外分光腹腔鏡システム	アルツハイマー病早期診断のための携帯型眼底カメラ（ハイパースペクトルイメージング）
 <p><u>大阪大学医学部附属病院</u> Gajanan Revankar 特任助教</p>	 <p><u>フィジオロガス テクノロジーズ株式会社</u> 宮脇 一嘉 CEO</p>	 <p><u>株式会社Surg storage</u> 平尾 彰浩 CEO</p>
患者中心の認知症早期識別AIアプリ開発	給水不要の血液透析システム	データの力で医療を革新する：外科AIの未来
 <p><u>株式会社トニジ</u> Paul Bridenbaugh COO</p>		
緑内障患者向け家庭用眼圧計の研究開発		

< 昨年のピッチの様子 >

KRP 公式 youtube 「HVC KYOTO 2024 ダイジェスト」

<https://youtu.be/cQgWYXRL7JQ?list=PLCmWh0EcM2nc42Qb2Xq1ZpueEq0Zr-ytQ>



4. これまでの強力なパートナーに加え、新パートナーが HVC への参画を決定！

事業提携先や共同研究先、出資先を探索し、採択スタートアップとのマッチングを目指す HVC パートナーに、本年度は新たに、グローバル企業を含む、以下の 9 社が加わりました。これにより、HVC プラットフォームはさらに拡大し、多様なイノベーションが創出されることが期待されます。

■新規パートナー一覧

< ゴールドパートナー >

- ・株式会社国際電気通信基礎技術研究所

< シルバーパートナー >

- ・カクタス・コミュニケーションズ株式会社
- ・株式会社ケイエスピー
- ・三井化学株式会社
- ・ノボノルディスクファーマ株式会社
- ・Remarkable Ventures
- ・塩野義製薬株式会社
- ・シーメンスヘルスケア株式会社
- ・イントラリンクス合同会社

5. 好評につき HVC Demo Day の会場席を増席！

HVC Demo Day Day2 (2025年7月1日)は、多くのお申し込みをいただき、好評につき会場の参加枠を増席しました。ただし、定員には限りがありますので、事前登録はお早めをお願いいたします。

申込先 URL : <https://hvckyoto2025.peatix.com>

6. HVC Week 概要

<BIE (※1) Workshop in Japan supported by SPARK Global>

科学者・医療従事者・起業を志す方を対象に、デザイン思考、創造的課題解決、製品開発、商業化戦略のスキルを実践的に学ぶプログラムです。講義、グループワーク、チームによる発表を通じて、バイオメディカル分野における創造性、革新力、そしてトランスレーショナルリサーチの実践力を高めることを目的としています。

- ・日時: 2025年6月28日(土)～6月30日(月)

6/30の選抜チームを決めるプレゼンテーションはHVC関係者の参加可

- ・会場: KRP4号館 2階「ルーム1」(京都市下京区中堂寺栗田町93)
- ・言語: 英語

※1: BIEとは「Biomedical Innovation and Entrepreneurship」の略。

<HVC KYOTO 2025 Demo Day>

- ・日時: 2025年6月30日(月)～7月1日(火)

Day1 (6月30日): 個別商談会・レセプションパーティー

(採択スタートアップとパートナーのみ参加可)

Day2 (7月1日): ピッチ・基調講演・併設展示(一般参加可)

- ・会場: KRP4号館 地下1階「バズホール」(京都市下京区中堂寺栗田町93)
- ・言語: 英語(同時通訳あり)

7. HVC KYOTO とは :

HVC KYOTO (Healthcare Venture Conference KYOTO) は、ヘルスケア領域における革新的な技術を持つ国内外のスタートアップと、オープンイノベーションに積極的な国内外の事業会社・ベンチャーキャピタル・インキュベーター等からなるHVCパートナーが集まるイノベーションプラットフォームです。HVC KYOTOでは、採択されたプレシードを含むシードからアーリー期を中心としたスタートアップに、パートナーとの連携や成長に資する接点機会を提供しており、Demo Dayでは、日本最大級のヘルスケア領域に特化した英語によるスタートアップのビジネスピッチ、およびスタートアップと事業提携先や共同研究先、出資先を探索するパートナーとのマッチングを実施しています。これまで9年間の採択スタートアップは174件(創業前の案件含む)にのぼり、採択後資金調達額は累積765億円(2025年3月現在・公開情報・国内企業限り)を超え、海外拠点開設・大型事業提携・J-Startup認定・AMED事業採択など、過去登壇者は目覚ましい活躍に繋がっており、ヘルスケア領域のスタートアップ・研究者の登竜門としても認知されています。

2025年2月には、内閣府主催の第7回日本オープンイノベーション大賞にて、「経済産業大臣賞」を受賞。オープンイノベーションのプラットフォームのロールモデルになり得ると評価されました。

その他にも 2023 年 3 月、特許庁が運営する「IP BASE AWARD」で、エコシステム部門「奨励賞」、同年 9 月、サイエンスパークの国際組織 IASP が運営する「IASP Inspiring Solutions Programme」で世界 3 位に選ばれる等、HVC はプラットフォームとして国内外からの評価を集めています。



8. 京都リサーチパークとは：

全国初の民間運営によるサイエンスパークとして 1989 年に開設。京都府・京都市の産業支援機関などを含めて 510 組織・6,000 人が集積。オフィス・ラボ賃貸、貸会議室に加え、起業家育成、オープンイノベーション支援、セミナー・交流イベント開催など、新ビジネス・新産業創出に繋がる様々な活動を実施。「ここで、創発。～Paving for New Tomorrow～」をブランドスローガンとして、イノベーションを起こそうとする世界中の方々に、魅力的な交流の舞台、事業環境を提供することを通じて、世界を変える新たな事業が生まれることに貢献します。

本件に関するお問い合わせ先

ジェトロ 京都貿易情報センター 佐竹

e-mail : KYO@jetro.go.jp

京都リサーチパーク株式会社 イノベーションデザイン部 長田

e-mail : hvckyoto@krp.co.jp

HVC KYOTO 2025 Demo Day

<メディア取材の申し込みについて>

HVC KYOTO 2025 では、メディア関係者向けに取材機会の提供を行っております。

【メディア向け特典内容】

1) ファイナリスト 15 社を含む採択スタートアップへの取材

登壇にあたりファイナリストへの取材が、6/30～7/1 の 2 日間で調整可能ですので、お問い合わせください。

2) 高解像度画像および、プレスキットの提供

イベントロゴ、登壇者リスト、写真などを含むプレスキットをご提供します。

※当日のイベント写真のご提供も可能です。ご相談ください。

<取材申込・お問い合わせ先>

担当： 京都リサーチパーク株式会社 イノベーションデザイン部 長田

E-mail: hvckyoto@krp.co.jp